

自己評価書

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取組を行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めてください。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- グループホームの自己評価は、各ユニットごとに行います。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日ごろの実践や改善への取組を示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支え合い	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取組の事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取組状況を具体的かつ客観的に記入します。
(実施できているか、実施できていないかにかかわらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○を付けます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取組内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	南光台ケアセンターそよ風
所在地 (県・市町村名)	宮城県仙台市泉区南光台南2丁目26-10
記入者名 (管理者)	及川 仁
記入日	平成21年 1月 13日

地域密着型サービス評価の自己評価書

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくり上げている</p>	<p>当ホーム理念は、明るく充実した生活が笑顔と共に健康と活性化が得られることを望み「明るく・笑顔で・健やかに」を掲げさせて頂いています。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取組</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎月の定例ミーティングで具体的なケア方針を掲げ、日々の業務で取り組んでいます。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>地域の方への説明は町内会・民生委員の集会時、また地域運営推進会議を通じご理解を求め、ご家族・本人に関しては入所相談時より、ご説明させて頂いております。</p>	
4	<p>○隣近所との付き合い</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的な付き合いができるように努めている</p>	<p>日頃より、近隣の方々には畑や植物の育て方のアドバイスを頂き、気軽なあいさつを頂いております。</p>	
5	<p>○地域との付き合い</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>イベントを企画し、近隣住民の方々に参加して頂いたり、中学生の職場体験学習の受け入れや、町会の集会や行事に参加し交流を深めさせて頂いたり、幼稚園や小中高と交流の機会があれば、お声をかけて頂いております。</p>	

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>民生委員による、一人暮らしの高齢者向け集会に参加し、会社独自の軽体操の実演を行い、健康増進に役立てて頂く。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義を理解した上で、自己評価にて気づいた点・改善点を日頃の業務へ反映させ、ホームの質の向上を図っています。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取組</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域への取り組みや、サービス向上に役立てる情報を得たり、協議をもち多方面からご意見を頂き活かしています。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>業務における質問、利用者・家族に関する相談、実地指導に関する報告等にて意見を頂き、サービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度を数名既に活用しており、今後も相談を受けたり、必要な人には活用できるよう支援して行きます。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内外共に研修に参加し、事業所全体にて虐待と身体拘束ゼロを宣言し、発生防止に努めると共に、地域の方より相談等あれば、各機関との連携を図り支援させていただきます。</p>		

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用希望から契約に至るまでに実態調査や審査会をもうけており、ご家族からの悩みやニーズを些細なことでも検討し相談・説明させて頂き、互いに理解・納得が行くよう図らせて頂いております。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員及び外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は普段より本人・ご家族とコミュニケーションを図り、多種多様な意見を聴き寄せ、その都度適切な対応が得られるよう努めさせて頂いています。また誰もが気兼ねなく苦情・意見・相談等は無記名で投稿できる意見箱を設置しております。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	訪問があった際ご家族に日頃の様子を伝えたり、通院時や体調・薬の変調時定期的に連絡を行い、金銭面は使用した状況を金銭出納帳を制作し報告しております。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員及び外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族へ苦情解決受付担当・責任者を定め仙台市や、国保連の窓口明記したフローチャートを掲示し、また誰もが気兼ねなく苦情・意見・相談等は無記名で投稿できる意見箱を設置しております。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聴く機会を設け、反映させている	定例会議や、ミーティング時、日々の業務の中で活発な意見が聴かれ、その都度協議等を行い業務に反映するよう図っております。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日々の業務や行事等に人員が必要な際、前もってシフト調整を行い確保し、災害や緊急時は昼夜問わず即管理者・非番の職員が応援に駆けつける体制を作っております。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者がなじみの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動が生じる際は、個々の症状に即応した細心のケアを心がけ、不安なく生活して頂けるよう努めさせて頂き、離職に関し末永く勤めてもらえる環境の整備とスキル向上に取り組んでおります。		

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取組</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の参加有無に限らず情報は常に得られるよう努め、また内部研修を定期的に行い、スキル向上を目標に取り組んでおります。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会の活動に参加し、同業者のネットワークを通じ、情報の共有や悩み・問題点解消・サービスの質の向上に取り組んでおります。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取組</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員親睦会を開催し、日頃の悩みや問題点解消・ストレス発散が図れるよう取り組み、また常に会話をもち相談しやすいよう努めております。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取組</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>常に個々の勤務状況を把握し、努力や実績に関し評価を行い、自由な発想を素に、行いたい事を推進し向上心が得られるよう努めております。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている</p>	<p>初期相談時から実態調査を何度か行い、本人の置かれた環境等を理解した上で、望んでいること・不安に感じている事を伺わせて頂いております。また理解に困難を要する方に関し、ご家族や活用されているサービス事業所より情報を得させて頂いております。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている</p>	<p>初期相談を受けた際、また実際に見学して頂き、入所に至るまでの期間、実態調査以外に相談窓口を設けておりますので、お問い合わせ頂くか、自宅等に伺い相談を承ります。</p>	

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けニーズを把握し、その方が望まれるサービス利用の可能性を模索し、当ホームに限らず他のサービス事業所の情報を提供させて頂いております。		
26	○なじみながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になじめるよう家族等と相談しながら工夫している	何度か見学や行事の際、「お茶飲み」感覚で来所頂き場の雰囲気に触れて頂き、なじめるよう努めさせて頂いております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支え合う関係を築いている	日頃から信頼関係が築けるよう努め、食事や掃除、農作業等を通じ、新たな発見や楽しみ、また苦難を共有し利用者から家族として受け入れられるよう試行錯誤させて頂いております。		
28	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族へ苦情解決受付担当・責任者を定め仙台市や、国保連の窓口明記したフローチャートを掲示し、また誰もが気兼ねなく苦情・意見・相談等を無記名で投稿できる意見箱を設置しております。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	生活環境と、本人の思想とご家族の考えを把握したうえで、従来の係わり方を理解し、継続か改めた関係になるせよ、良い関係が築けるよう支援し、ご家族の希望があれば宿泊も可能とする。		
30	○なじみの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきたなじみの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人への来客があった際、気兼ねなく来所頂けるよう環境に配慮し、面会時間以外にも柔軟な対応がなされています。また利用者の希望に沿い外出等の支援に努めています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士がかかわり合い、支え合えるように努めている	普段からの交流と、共同での作業を行う際、個々の身体・精神状況を理解した上で、利用者同士協力し合えるよう職員が係わりへの支援を行っております。		

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らない付き合いを大切にしている	契約が終了した方であっても定期的にご家族や、係わりあるサービス事業者に伺ったり、相談や情報提供を行っております。		
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望に沿った支援を個々に汲み取り、意思疎通が困難な方に関し過去の生活歴を参考に本人本位に沿って検討し、ご家族の意見を頂きながら支援しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴やなじみの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時以外にもご家族から従来の生活状況の情報を頂いたり、本人との生活の中で直接情報を得たり、以前利用していたサービス事業者より情報を得るなどして把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その日の暮らし方や身体状況等、昼夜共に状況把握を行い、数日ごとに経過を観察し、総合的に検討し現状に即したケアが行なえるよう努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアの在り方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	普段の体調面であったり症状に変化が生じた際、ご家族との対話や関係機関との情報を織り交ぜ計画に反映させています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況変化が生じた際、現状に即した計画を、本人の意向・ご家族の思い・各関係機関の情報を交え、作成しケアに反映するよう努めています。		

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気付きや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの状況を経過記録に記入し、職員が継続で行なう支援の経過を確認しつつモニタリングを行い、状況に応じた新たなケアを摸索し実施に向けた計画の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出・定期通院・等緊急を要する通院等、昼夜問わず連絡網により管理者及び、近隣職員が柔軟に対応しております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員には入所以前からお世話になっていた方もおり、時より立ち寄りなど、なじみの方との付き合いが継続出来ている。また毎月ボランティアによる公演等を通じ文化交流が図れ、教育機関(小中高)との交流が図れるよう努めさせて頂いております。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	要求や状況により必要な際、求めるサービスの情報を探し提供と共にサービス利用に至るまで支援させて頂いております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは地域運営推進会議へ参加頂き協議等を行い、情報の共有・協力が図れるよう努めております。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の24時間の受け入れは確保しており、また症状により早急に主治医より専門医療機関へ紹介頂き受診出来るよう支援させて頂き、現在主治医・他医療機関と密接な関係が築けてきており、利用者・ご家族の不安が解消されるよう努めております。		

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関以外に、認知症専門医を主治医としている利用者がおり相談させて頂き、また研修等にて知り得た医師とコンタクトを取り相談また情報を得させて頂いております。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関の看護師、他サービス事業所の看護師と相談と情報の共有を図っております。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先の医師・看護師へ日頃の身体状況・認知症状の注意点を記載した情報提供表を、ご家族の同意にもとずき提供させて頂き、退院を見通し関係医療機関と対応等に関し相談をさせて頂き、安定した生活が送れるという支援させて頂きます。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期の在り方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療機関との連携を図り、本人・ご家族の意向を踏まえ共に協議し方針を決め、支援させて頂いております。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	個々の身体状況に応じた、可能性を模索しつつ本人が望む生活を図り、医療機関と変調時に備え見通しをたてた支援が行えるよう努めてまいります。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住む先の関係者への情報提供は惜しまず、互いに協議し従来同様に本人や、ご家族が不安なく過せるよう支援させて頂きます。		

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉掛けや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない	何気ない会話の中にも人権侵害へ通じる恐れや、やる気を損ねる可能性があり十分に注意するよう努めています。また個人情報漏洩に関しても過ちの無いよう気をうけております。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働き掛けたり、分かる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その都度、時間を要しても可能な限り意志で行動を起こし納得いただけるよう支援し、困難な方であってもタイミングや時期を変え試行錯誤し、些細なサインも見逃さないよう支援させて頂いております。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	生活サイクル(起床・食事・就寝)を大きく崩さない範囲で、利用者個々のペースで対応しております。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の意向・こだわりへ配慮を行い、着替えの時は本人の意向を尊重し、身だしなみやお洒落に関する会話を持ちかけネイルケアや化粧を行い、美容店では本人の望むヘアスタイルにして頂いています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好み・身体状況に合わせて、食事が少しでも美味しく進むよう食材・調理等考慮し、盛り付も色どりや器を考慮し、目でも楽しんで頂けるよう工夫しております。	
55	○本人のし好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	身体状況に合わせて摂取量など確認させて頂きながら、お酒等も本人の希望時に楽しんで頂けるよう支援させて頂いております。	

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排せつの支援 排せつの失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排せつのパターン、習慣を活かして気持ちよく排せつできるよう支援している	自力で排泄して頂きたく習慣・排泄サイクルを把握し誘導等を行い、トイレでの排泄継続を図り、また便秘予防に飲食物の工夫や適度な散歩・体操等軽運動を行い自然排泄を促します。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの意志とご家族の意向、従来の習慣に合わせて対応し、拒否が生じる方へは安心して楽しめるような声掛けや、足浴等より支援しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間体の睡眠が安定して得られるよう日中は適度な運動等行って頂きます。また普段の昼寝や体調様子伺い休んで頂よう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の得意性と持てる力を自然なかたちで発揮し、行ったことに充実感が得られるよう支援いたしております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の希望で日常雑貨の購入資金は別途お預かりしており、買物等必要な際その者の有する能力に応じ所持し使えるよう支援しております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出掛けられるよう支援している	日頃より掃除や畑の手入れ・洗濯物を干しに行ったり、希望に沿って買物へ(職員同伴)行けるよう支援しております。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出掛けられる機会をつくり、支援している	本人の食べに行きたい物や、出かけた所希望を募り外出できるよう支援し、またご家族との外出・外泊の際にはお出かけ用に荷造り負担にならぬよう支援いたしております。		

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話を掛ける要望は少ないですが、掛かって来た電話には受け答えされています。また季節に応じたお便りや、行事へのお誘い等提案させて頂いております。		
64	○家族やなじみの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人のなじみの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や知人が来所頂いた際には、ゆっくりくつろげるよう配慮を行い、次回以降も気軽に尋ねて頂けるよう図らせて頂いております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及びすべての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する弊害の理解に努め、危険回避の為にしている業務が拘束に当たらないか日頃から確認してから実施し、拘束を行わないケアに取り組んでおります。		
66	○鍵を掛けないケアの実践 運営者及びすべての職員が、居室や日中玄関に鍵を掛けることの弊害を理解しており、鍵を掛けないケアに取り組んでいる	日中帯職員が充足している際は開放し、夜間帯防犯等を踏まえ施錠しております。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日頃より身体状況や認知症状の変化等に気がつけるよう所在の把握は行い、尚プライバシーへの配慮と行動の制限にならないよう考慮したケアを行っております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取組をしている	個々の身体状況に合わせ、前もって明らかに危険と認識できるものは防止策とし排除しますが、一概に全て廃除せず本人が扱い方や認識が得られている物品に関しては、日常必要であれば手に取って扱えるよう配置しております。		
69	○事故防止のための取組 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の日頃の身体状況を常に把握し、起こりうる怪我や事故を事前に検討し予防策を講じています。知識に関しては各種内外の研修や医療機関や看護師より得ております。		

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、すべての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルに沿って、即応援を配備し応急手当・医療機関へ報告し指示を仰ぎ対応させて頂いております。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろから地域の人々の協力を得られるよう働き掛けている	年2回防災訓練を実施し、地域の応援が得れるよう町内会の集まり・地域運営推進会議を通じて働きかけて頂いております。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	身体状況・認知症状の変調が生じる可能性を前もって説明させて頂いておき、急を要する際抵抗が少なくなるようその都度ご連絡させて頂いております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期に異変に気が付けるよう様子観察を行い、職員間申送りの徹底を図り情報の収集・共有に努め、ケアの方向性を定めて行きます。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の主な疾患・症状・服薬の必要性を理解のもと支援させて頂き、症状に変化が生じた際は医療機関・ご家族と検討の後に変更等行っております。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働き掛け等に取り組んでいる	乳製品・食物繊維の摂取と水分量の確認や散歩等働きかけを行い、食事等にて改善が得られない場合は、主治医に相談し対応しております。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後とに口腔ケアを実施し、就寝時は入歯の衛生管理を行ない噛み合わせ等確認致しております。		

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎食確認を行い、栄養士管理の下に栄養バランスを考慮した食事を作り、目標値を定めた水分量が確保できるよう支援しております。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルに沿った対応策を講じ、サービス中に着用したユニホームは外部に持ち出さずホーム内で消毒洗浄しています。また常に情報を得るよう努めております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	消毒方法マニュアルを台所へ掲示し、調理用具の衛生管理を行ない、食材に関し極力残量を残さぬよう対応しております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花や植物を育て地域の方にも興味を持ち声をかけて頂き、植物の手入れを手伝って頂いたりしております。また常に玄関で出くわす方へは挨拶を行い親しんで頂けるよう努めています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示物や花や植物にて季節感を彩り、テレビ等の無用な音への配慮を行い、光に関し心地よさが得られるよう照明・温度・湿度・換気等への配慮に努めております。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室以外にも利用者同士交流が得られるよう、3人掛けソファを用意し、廊下には興味が抱けるよう書庫や小物を配置し、その奥には一人掛けの椅子を2脚用意し寛ぎつつ交流が図れるようにしております。		

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の愛着ある使い慣れた品に囲まれ安心して頂き、ここが家だと認識して頂けるよう努めております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は季節に応じ、また感染症予防とし適度に行い。その他尿や便臭に関してはその都度換気を行っております。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一概に全てをバリアフリー化せず、台所や浴槽などはごく一般的な物を設置しております。		
86	○分かる力を活かした環境づくり 一人ひとりの分かる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の日常生活動作が支障なく行なえるよう、全てを介助することなく残存機能を活かし出来る事は極力ご自身で行って頂き自信が持てるよう声掛け・見守り行い、見当意識障害の対応とし、時間・カレンダーまたトイレ・居室には分かりやすく表札等を掲示しております。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周りに花や植物を育て、また窓から見える位置に畑を作り作物の生育が常に分かるようし、活動意欲を触発するよう園芸用品の配置とベンチを用意しています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる	○	①ほぼすべての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼすべての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼすべての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出掛けている		①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼすべての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームになじみの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼすべての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼすべての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

現在、男性3名・女性6名様にご利用頂き「明るく・笑顔で・健やかに」を理念に生き々と生活し、日々笑顔があふれ安心して暮らせるよう職員一丸となり共に生活しております。入居者様一人ひとりの残存能力を活かし掃除や調理等日々行い、庭の畑等で花や野菜を育て収穫の楽しみを味わっております。またホームの立地環境は南光台の住宅を眼下に遠くの山々を眺め散歩をするにも素晴らしいコースになっております。月に一度は行事やボランティアによる民謡・大正琴・コーラス等の演奏会を開催し交流と共に楽しんでいただいております。